

会津の  
《仕の掟》



市人権推進課（教育庁舎1階）  
TEL 32・2122 / FAX 33・3525

いじめによる子どもの自殺が続ぎ、心が痛みます。1月8日の読売新聞「よみうり寸評」に、標記のことが紹介されていました。特に四と五の項目は幼少時の躰（教育）として、とても大切だと思われましたので、ご紹介します。みなさん、ともに考えてみませんか。

（ならぬことは、ならぬものです）―会津藩の幼児教育を象徴する《仕の掟》を締めくくる言葉だ。1月6日に始まった、今

年のNHK大河ドラマ「八重の桜」に出てきた。この頑固おやし風教育は、近年避けられているようであり聞かないが、判断力のついていない幼児には簡明至極でいい。

- 一．年長者の言うことに背いてはなりません。
- 二．年長者にはお辞儀をしなければなりません。
- 三．虚言（うそ）を言うてはなりません。
- 四．卑怯（ひきょう）な振る舞いをしてはなりません。
- 五．弱い者をいじめてはなりません。
- 六．戸外でものを食べてはなりません。
- 七．戸外で婦人と言葉を交わしてはなりません。

これらの掟の最後を（ならぬことはならぬものです）で締めた。第七項はさすがに時代遅れだが、他は今でも通用する。  
（仕）は本来十人の戦闘集団を意味するが、この場合は遊び仲間の組のことだ。さて、女性には（ならぬこと）の多かつた時代に、会津

の娘八重はどう育つのか。大震災の被災地に、勇気と励ましを届けるドラマになるよう期待する。

このドラマは、東日本大震災で甚大な被害（天津波・原発事故）を受けた東北地方とりわけ福島県の西部・会津地方が舞台です。

会津といえば、幕末の京都守護職や新選組の庇護、戊辰戦争の白虎隊等で有名ですが、鳴門市にあった板東俘虜收容所の松江豊寿所長も会津の出身です。人道・博愛主義精神のルーツは、この《仕の掟》からなのかもしれない。

卑怯な振る舞いや弱い者いじめを禁じている点は、「互いの人権を大切にしましょう」と、私たちに時代を超えてメッセージを届けてくれているような気がします。

参考・引用文献  
2013年1月8日  
「読売新聞」提供

市民クロスカントリー大会

小学生から一般の方まで参加した『第48回小松島市民クロスカントリー大会』が2月16日、JAあいさい緑地周辺コースで開催されました。寒空の下、選手らの力走に保護者や友人らが大きな声援を送っていました。小学校の部の結果は左記の通り。（敬称略）

- ▼小学校1年生女子の部  
優勝：前川和夏（南小松島）  
準優勝：小林碧（児安）
- ▼小学校1年生男子の部  
優勝：鳴鬼悠真（和田島）  
準優勝：牛田蒼大（和田島）
- ▼小学校2年生女子の部  
優勝：西宮侑紀（南小松島）  
準優勝：樋口綺星（児安）
- ▼小学校2年生男子の部  
優勝：山田蒼（北小松島）  
準優勝：日下椋太（小松島）
- ▼小学校3年生女子の部  
優勝：黒田凜（鳴教大附属）  
準優勝：玉沢夏希（児安）
- ▼小学校3年生男子の部  
優勝：佐々木俊輔（小松島）  
準優勝：武田龍一（和田島）
- ▼小学校4年生女子の部  
優勝：田村莉子（新開）  
準優勝：手塚月菜（新開）
- ▼小学校4年生男子の部  
優勝：堀本堯舜（坂野）  
準優勝：山田慮宇（坂野）
- ▼小学校5年生女子の部  
優勝：久田千紗（南小松島）  
準優勝：松下七海（南小松島）
- ▼小学校5年生男子の部  
優勝：野口蓮太（和田島）  
準優勝：武田遥都（南小松島）
- ▼小学校6年生女子の部  
優勝：谷歩夏（南小松島）  
準優勝：高橋奈那（児安）
- ▼小学校6年生男子の部  
優勝：藤原建貴（新開）  
準優勝：武田翔太（和田島）